

# 奈良県の経済動向

令和6年1月

奈良県総務部知事公室統計分析課



「奈良県の経済動向」は、奈良県における経済活動の主要分野に着目し、当該分野の経済指標の時系列変化や、全国・近畿各府県との比較により、奈良県の経済状況を分かりやすく、ビジュアルに取りまとめたものです。

内容についてのご照会・ご意見は、奈良県総務部知事公室統計分析課企画分析係までお願いします。

〒630-8501 奈良市登大路町30 (電話) 0742-27-8473 ホームページアドレス <https://www.pref.nara.jp/40171.htm>

## ～ 目 次 ～

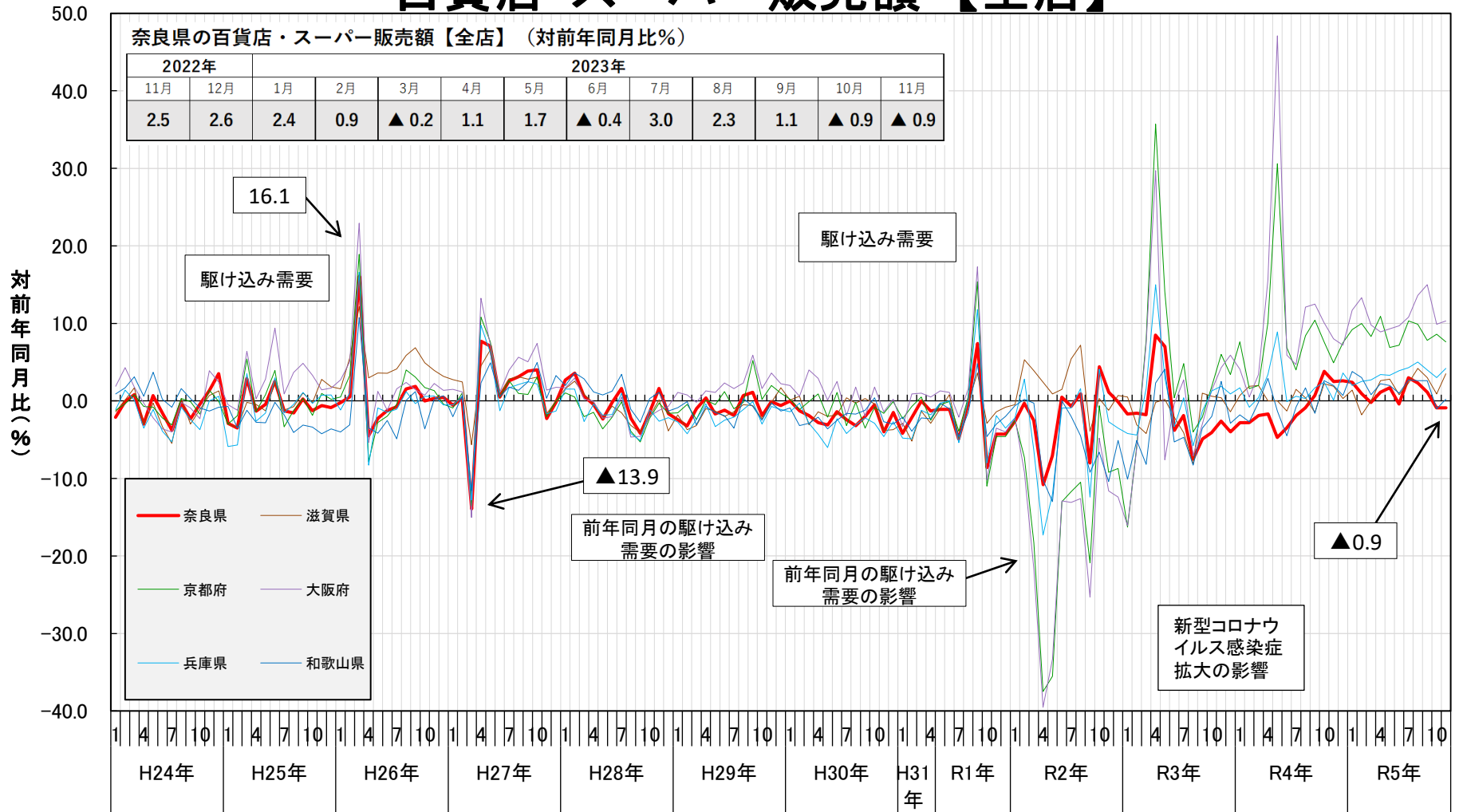
		頁
A.消費	【小売販売】 百貨店・スーパー販売状況、新車販売	1～3
	【物 価】 消費者物価指数	4
B.生産	【観 光】 延べ宿泊者数、観光客数	5～6
	【生 産】 鉱工業生産指数	7
C.投資	【民間投資】 新設住宅着工戸数 建築着工床面積	8～11
	【公的投資】 公共工事	12
D.金融	【貸出残高】 銀行貸出残高、信用金庫貸出残高	13～14
E.雇用	【求 人】 有効求人倍率、新規求人倍率	15～18
	【賃 金】 現金給与総額等	19～20
F.景気	【倒 産】 企業倒産件数、負債総額	21～22
	【景気全般】 景気動向指数	23

# A. 消費【小売販売】（1）百貨店・スーパー販売額の推移

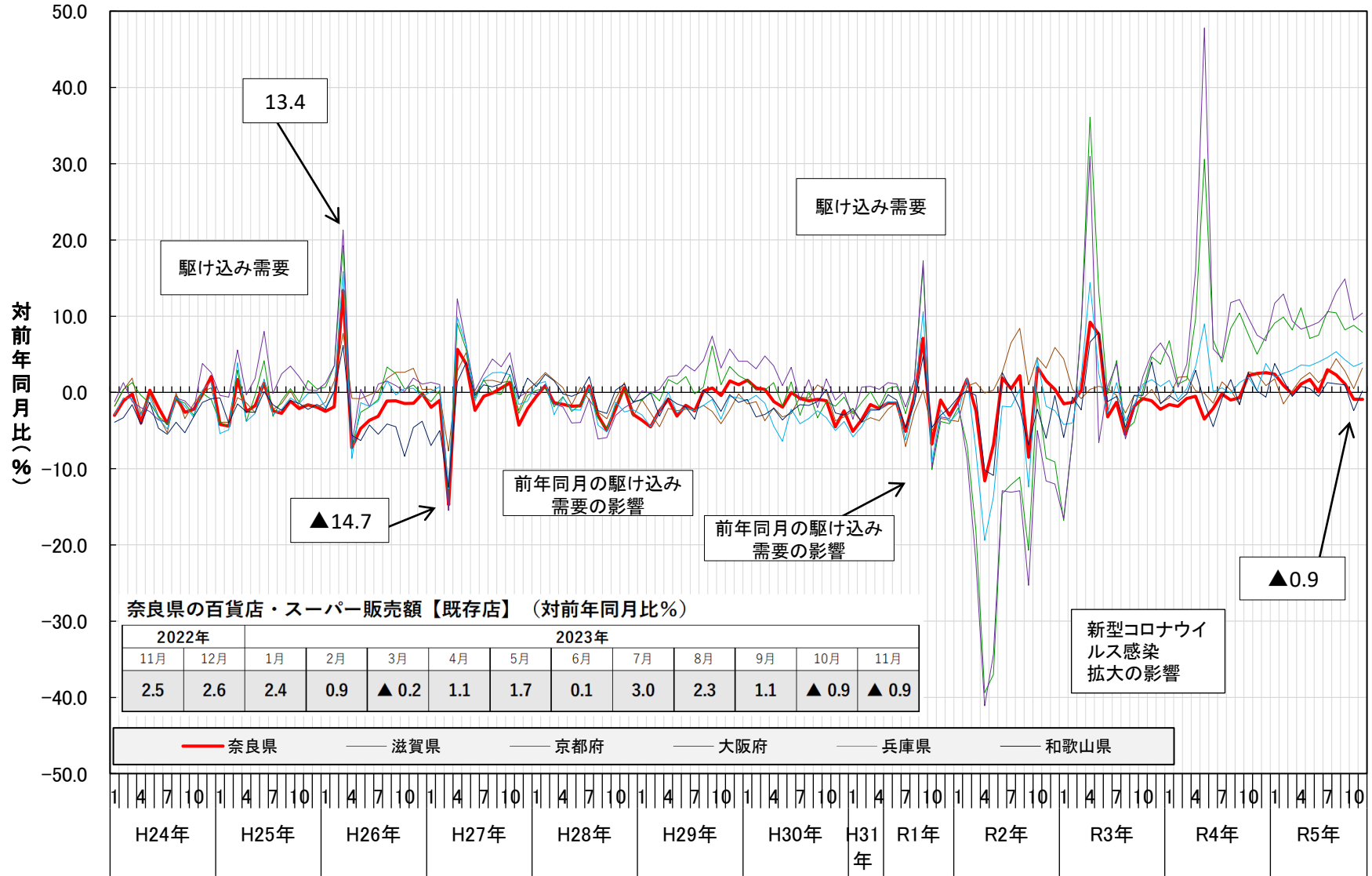
○ 令和5年11月の百貨店・スーパー販売額の対前年同月比は、全店ベースで2か月連続でマイナス、既存店ベースも2か月連続でマイナス。

出典：近畿経済産業局

## 百貨店・スーパー販売額【全店】



# 百貨店・スーパー販売額 【既存店】

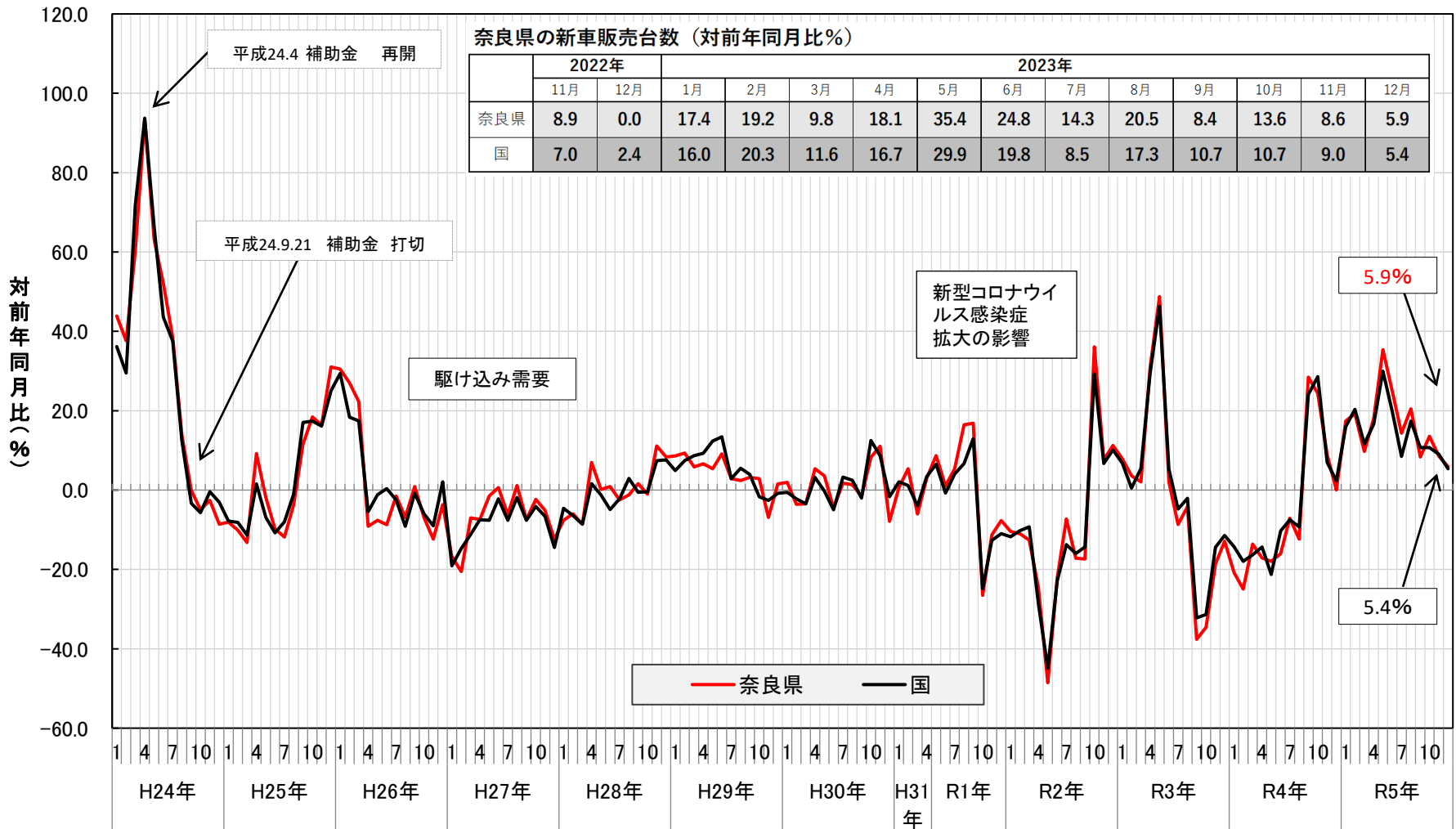


【既存店】: 調査当月及び前年同月とも調査対象である店舗のみの販売額を比較したもの。

【全 店】: 店舗の開・廃業にかかわらず、調査時点における全ての調査対象店舗の販売額を単純に比較したもの。

○ 新車販売台数の対前年同月比は、令和5年12月に5.9%と12か月連続でプラスとなった。

出典:近畿運輸局等

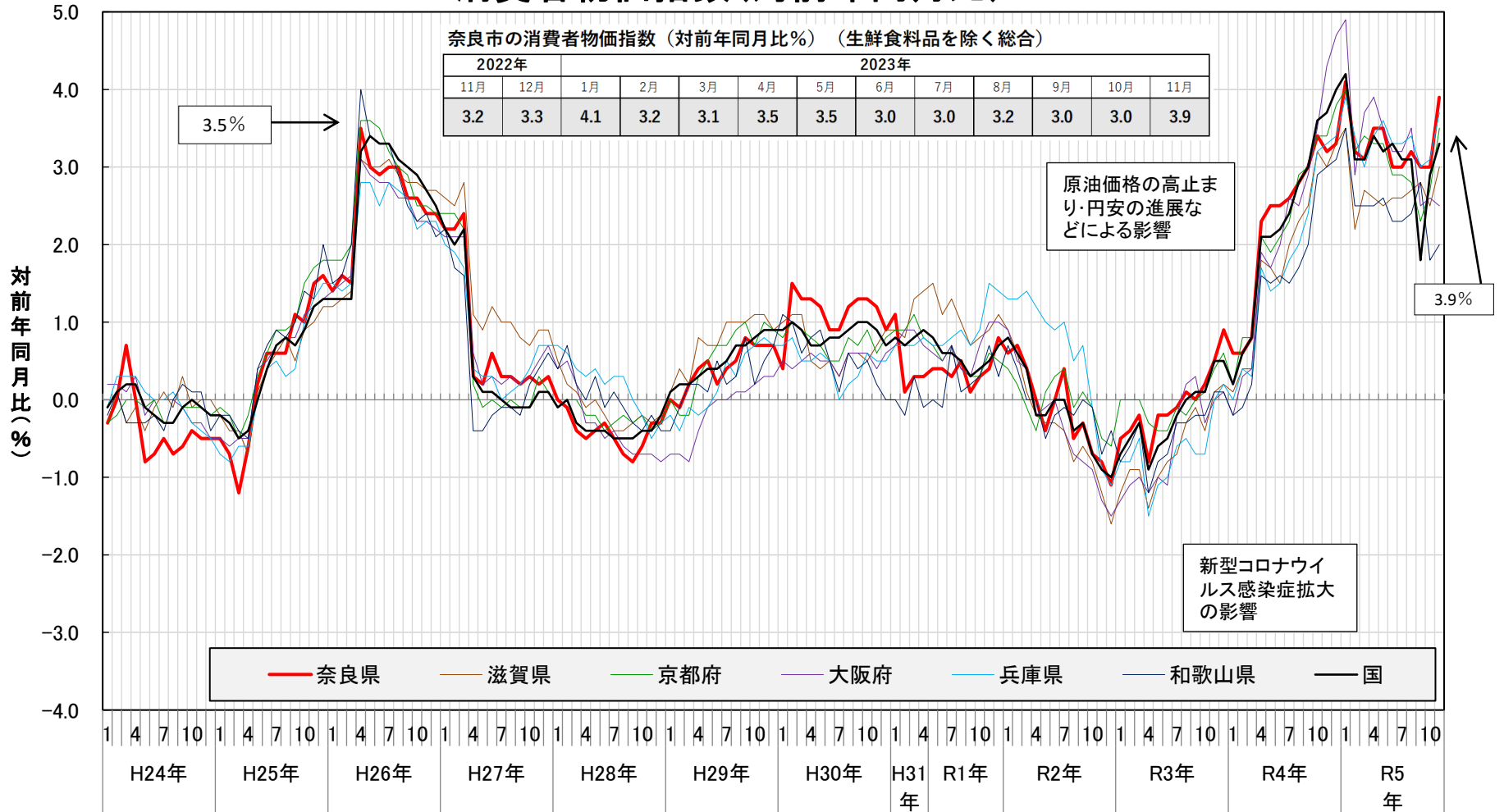


# A. 消費【物価】 消費者物価指数(CPI)の推移 - (生鮮食料品を除く総合) - 4

○令和5年11月の消費者物価指数の対前年同月比は、3.9%の上昇となった。

出典：近畿各府県消費者物価指数

## 消費者物価指数(対前年同月比)

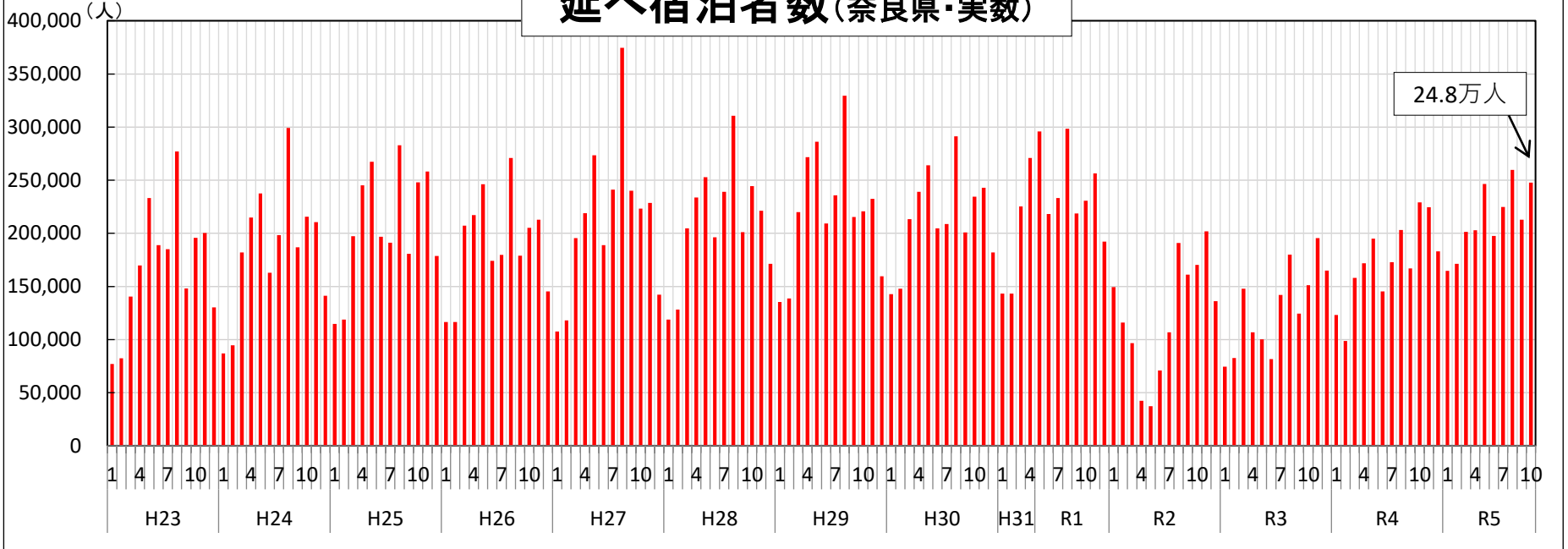


(注)R3.1～は2020年基準値

# B. 生産【観光】 延べ宿泊者数の推移

出典：観光庁宿泊旅行統計

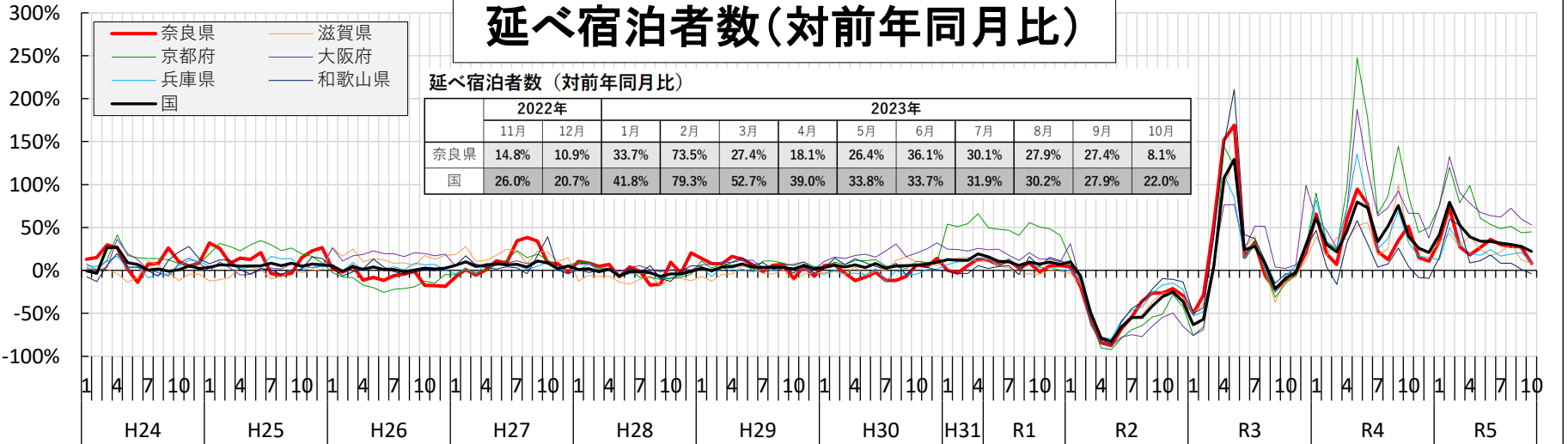
## 延べ宿泊者数(奈良県・実数)



## 延べ宿泊者数(対前年同月比)

延べ宿泊者数(対前年同月比)

	2022年				2023年							
	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
奈良県	14.8%	10.9%	33.7%	73.5%	27.4%	18.1%	26.4%	36.1%	30.1%	27.9%	27.4%	8.1%
国	26.0%	20.7%	41.8%	79.3%	52.7%	39.0%	33.8%	33.7%	31.9%	30.2%	27.9%	22.0%



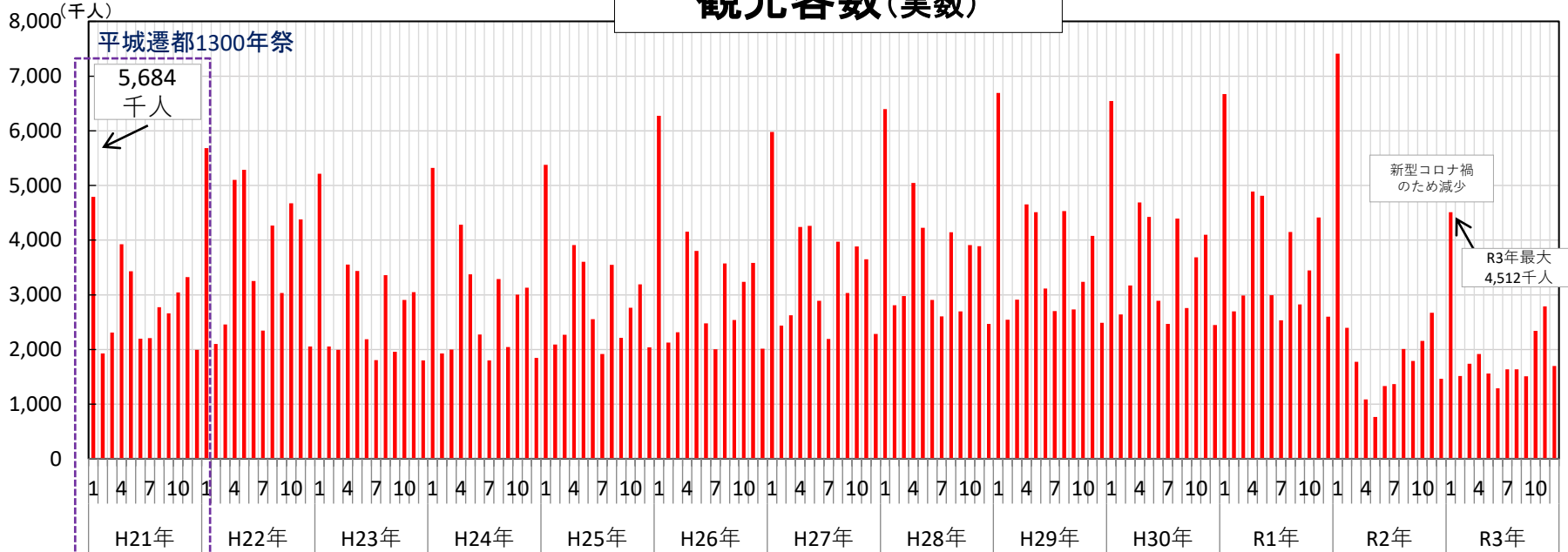
(注)R5年1月～R5年10月は速報値。



# B. 生産【観光】 観光客数の推移

出典：奈良県観光客動態調査

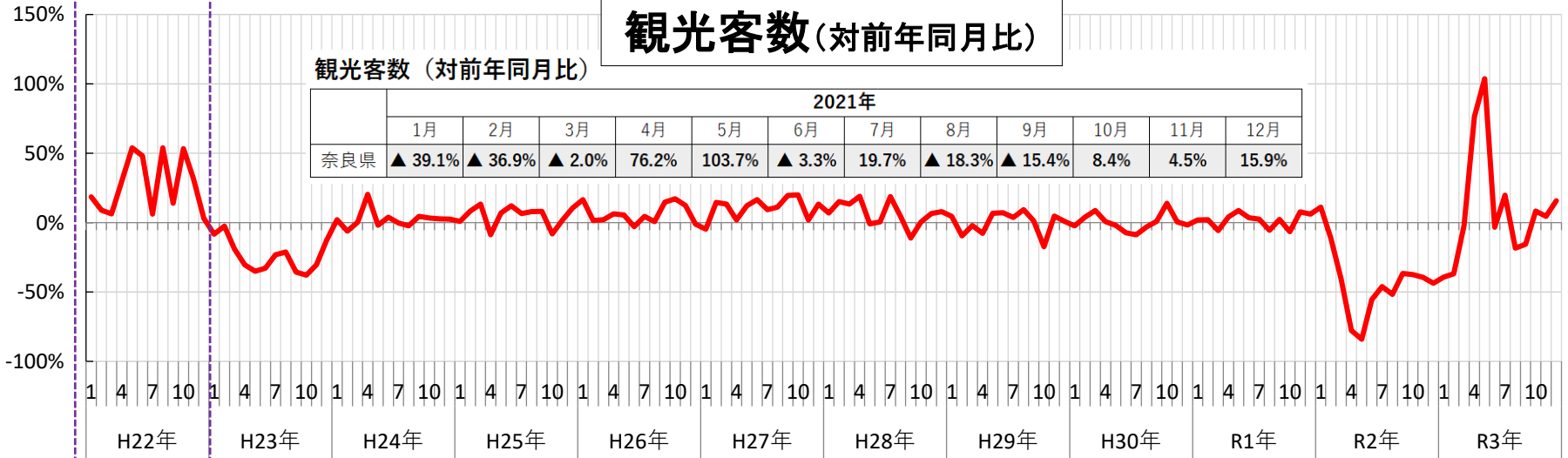
## 観光客数(実数)



## 観光客数(対前年同月比)

観光客数 (対前年同月比)

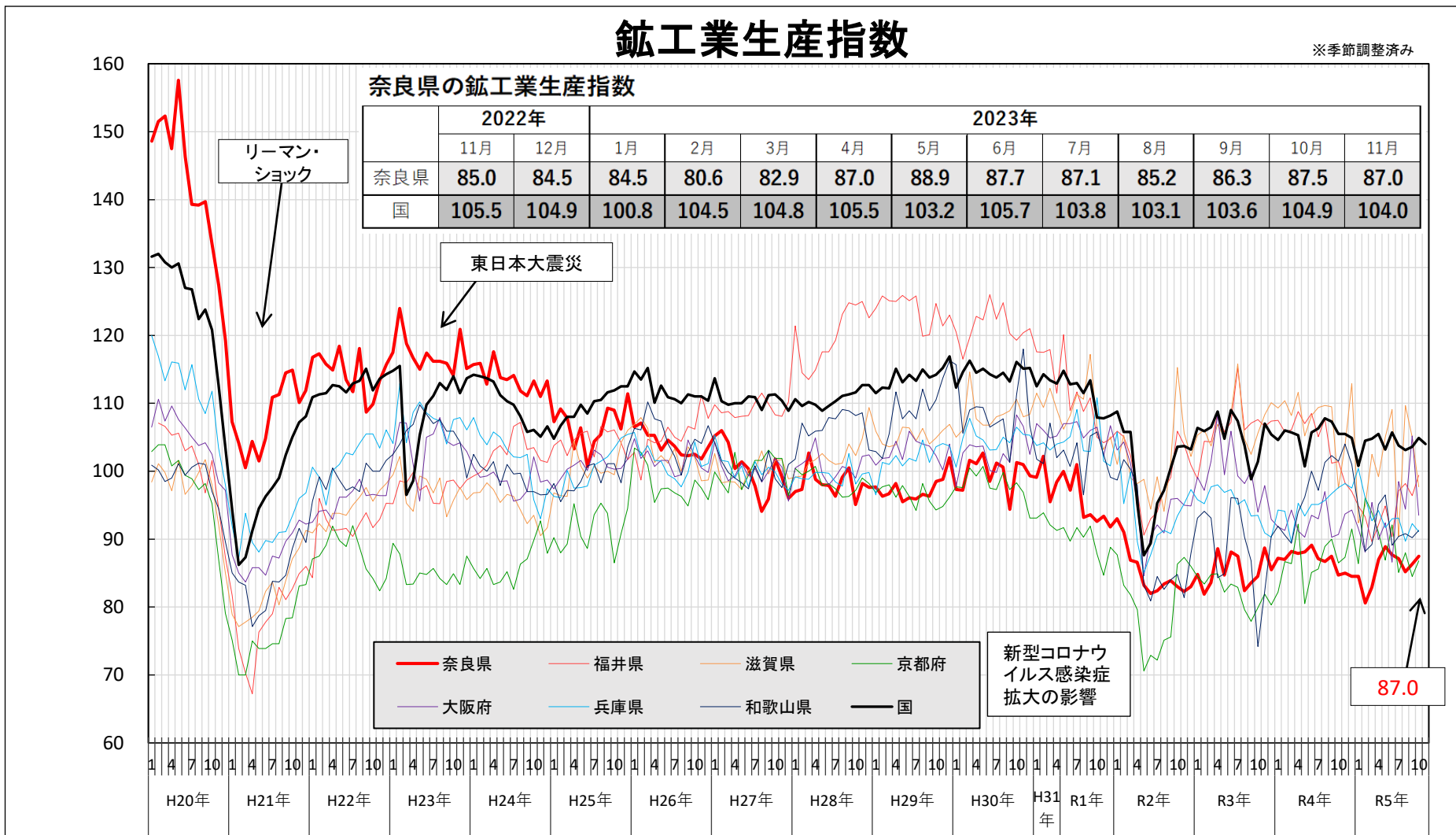
	2021年											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
奈良県	▲ 39.1%	▲ 36.9%	▲ 2.0%	76.2%	103.7%	▲ 3.3%	19.7%	▲ 18.3%	▲ 15.4%	8.4%	4.5%	15.9%



※参考 令和3年12月までのデータ

○ 鉱工業生産指数は、令和5年11月に3か月ぶりに低下した。

出典：各府県鉱工業生産指数

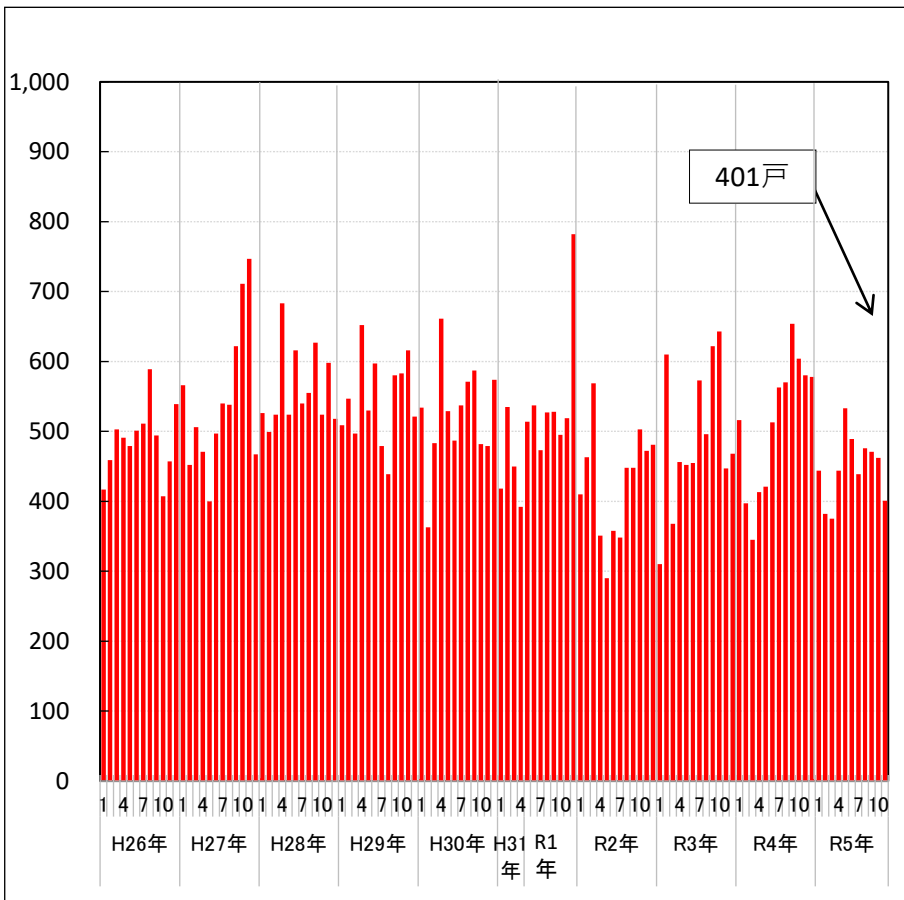


注：最新月分が公表されていない県について、公表され次第追加します。  
 国値、福井県値は2020(R2)年基準に移行しております。

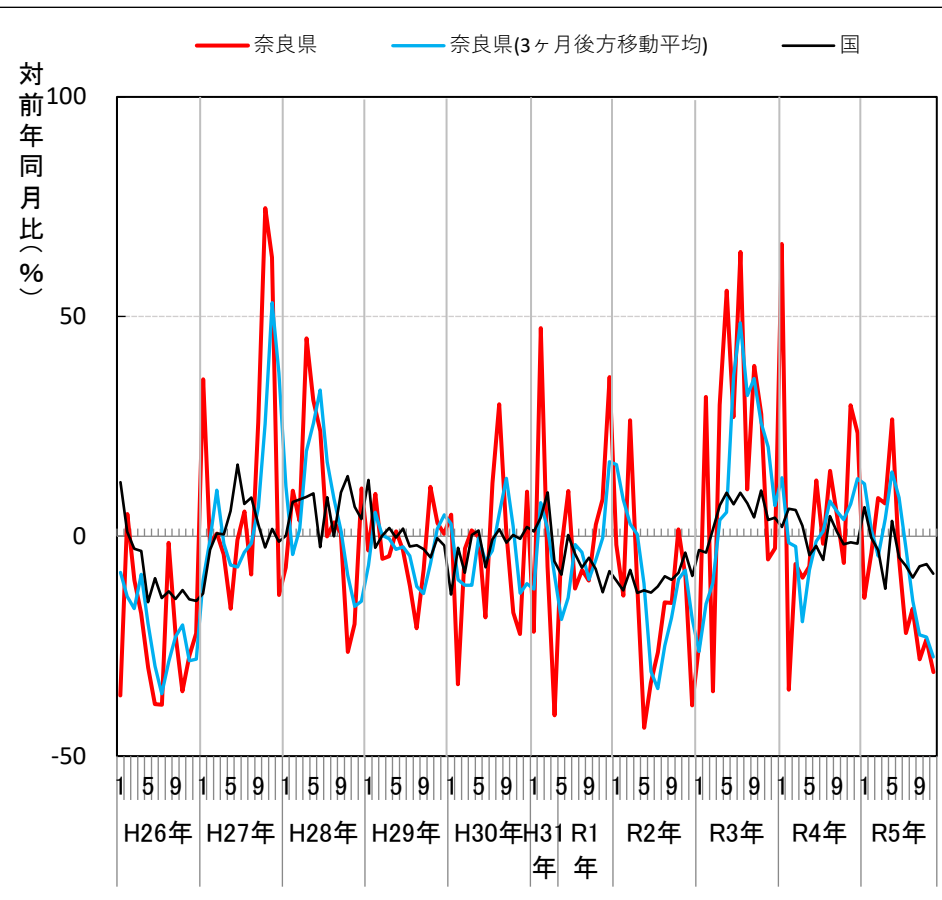
○ 新設住宅着工戸数は、令和5年11月に401戸となった。

出典：国土交通省 住宅着工統計調査

## 新設住宅着工戸数(実数)



## 新設住宅着工戸数(対前年同月比)

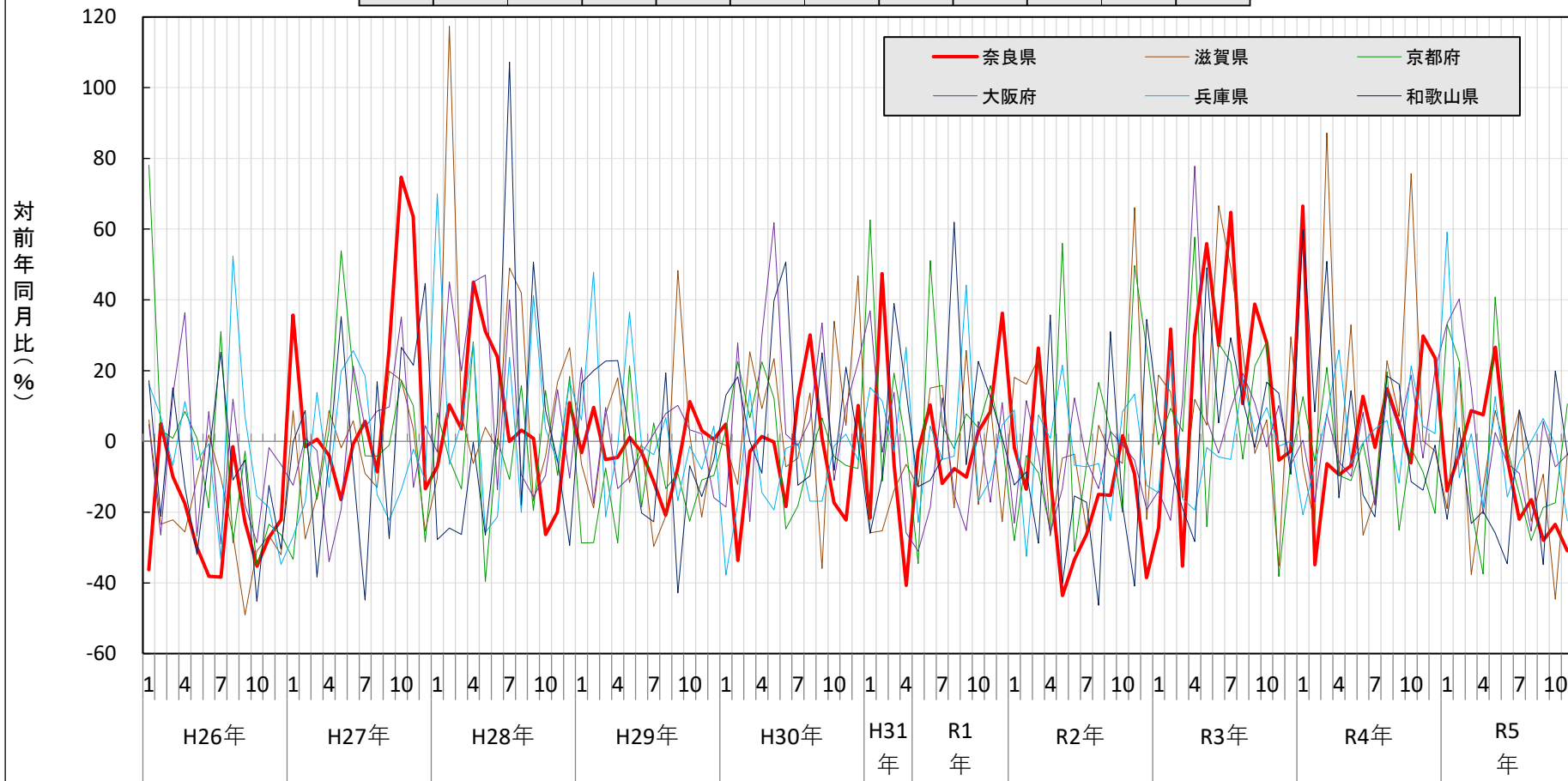


※ 3ヶ月後方移動平均＝足下の基調の変化をつかむため、当月を含む直近の3ヶ月の平均を当月の値とする統計手法

## 新設住宅着工戸数(対前年同月比)

奈良県の新設住宅着工戸数 (対前年同月比%)

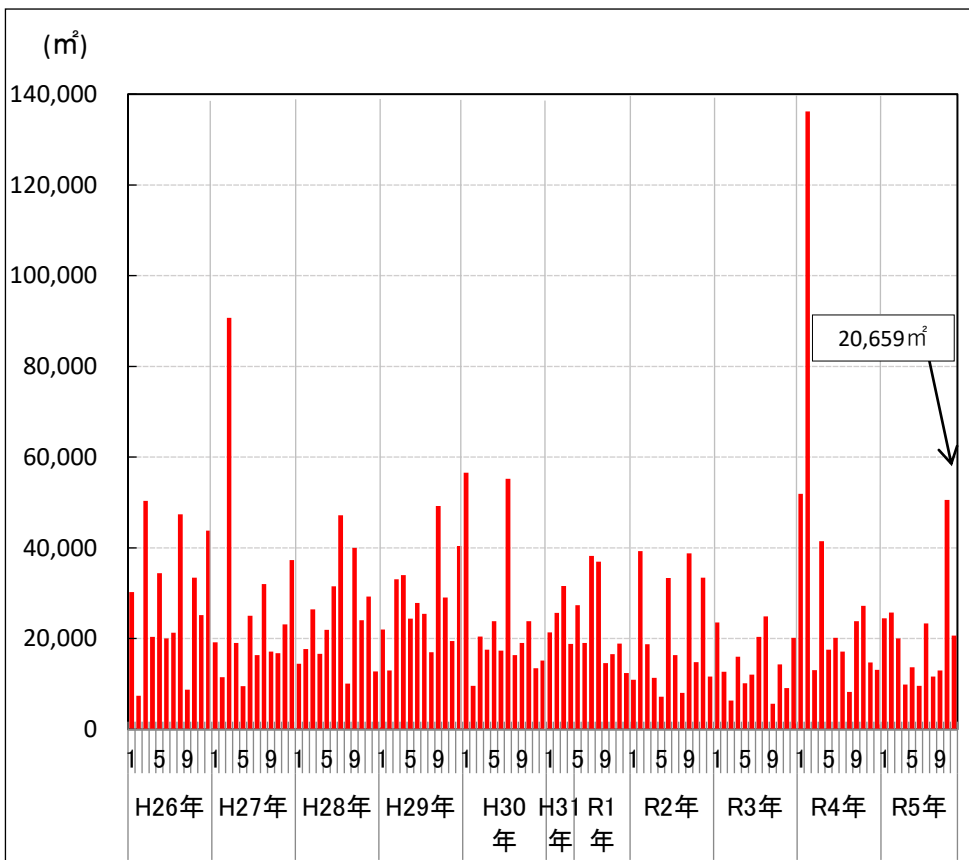
2022年	2023年										
12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
23.5	▲ 14.0	▲ 3.8	8.7	7.5	26.6	▲ 4.7	▲ 22.0	▲ 16.5	▲ 28.0	▲ 23.5	▲ 30.9



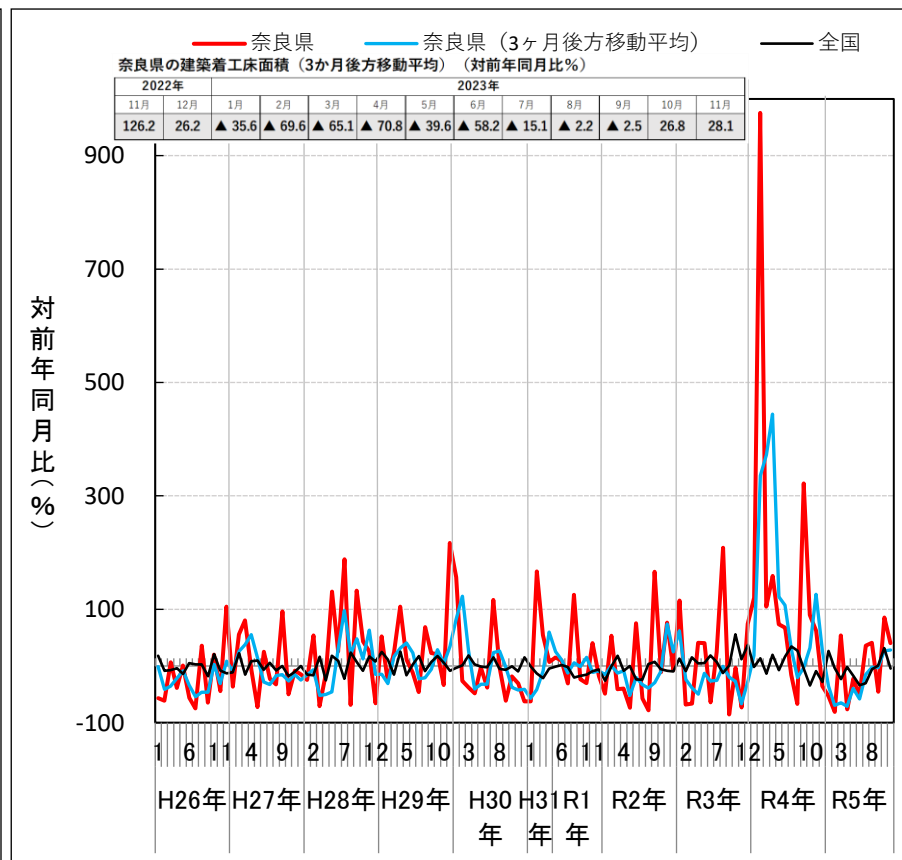
○ 建築着工床面積の対前年同月比(3ヶ月後方移動平均)は、令和5年11月に2か月連続でプラスとなった。

出典:国土交通省 建築着工統計調査

## 建築着工床面積(実数)

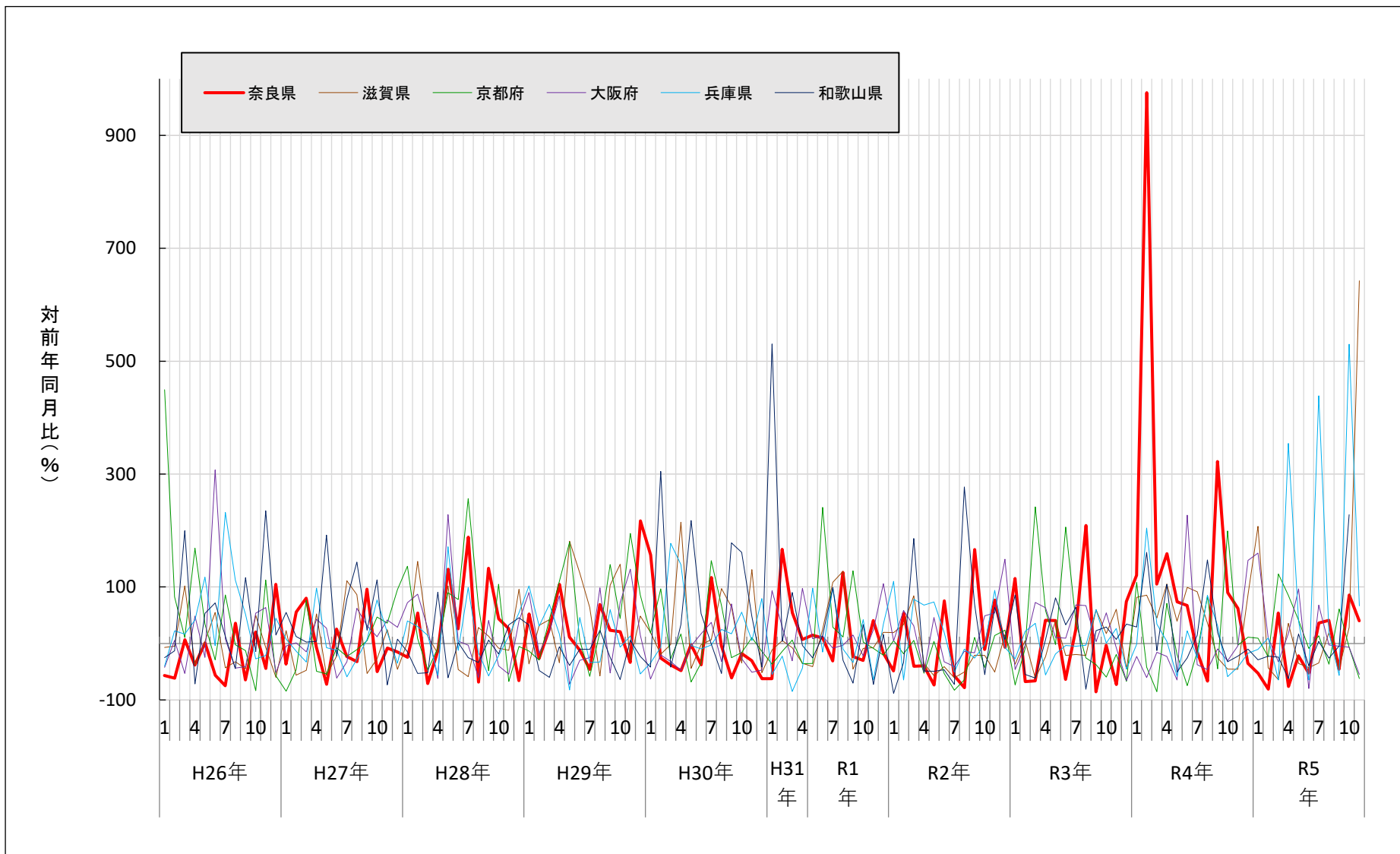


## 建築着工床面積(対前年同月比)



※ 3ヶ月後方移動平均=足下の基調の変化をつかむため、当月を含む直近の3ヶ月の平均を当月の値とする統計手法

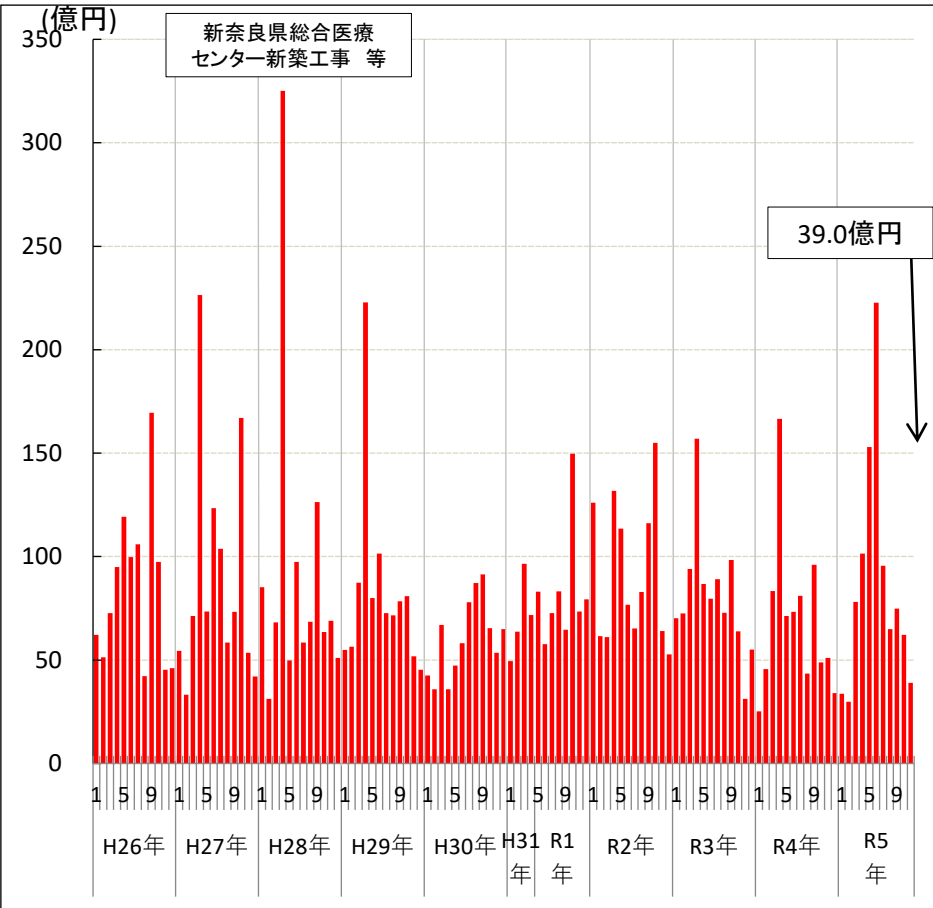
建築着工床面積(対前年同月比)



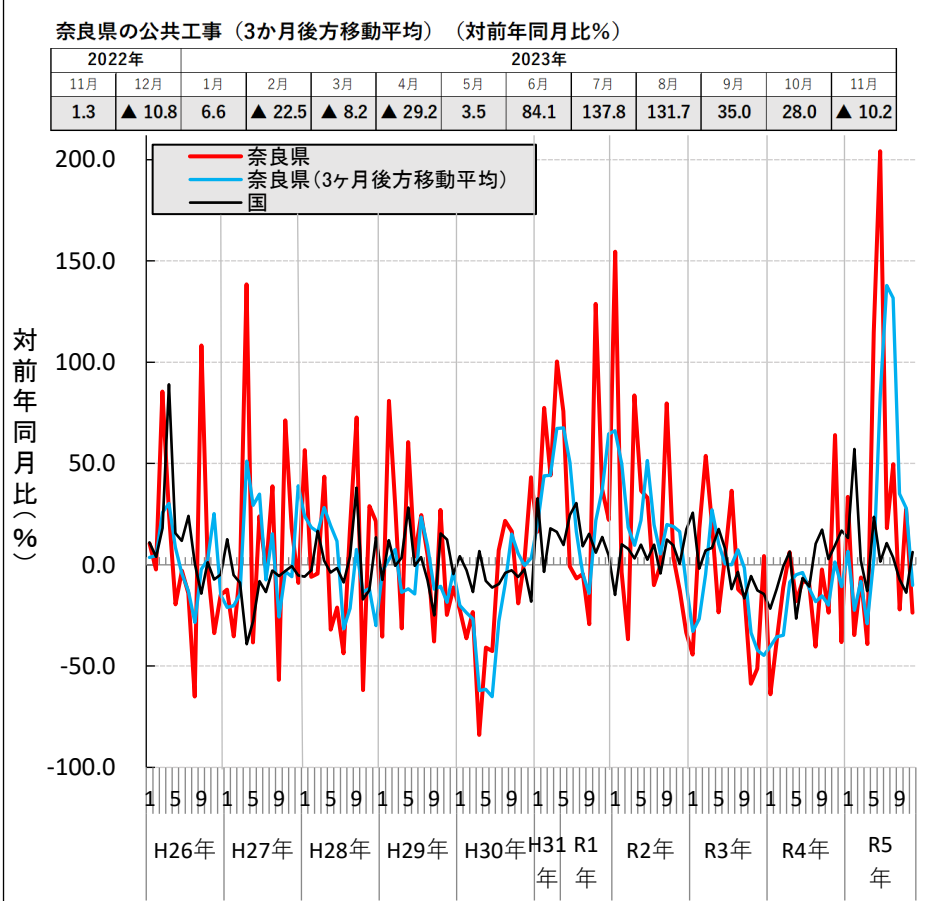
○ 公共工事の対前年同月比(3ヶ月後方移動平均)は、令和5年11月に7か月ぶりにマイナスとなった。

出典:西日本建設業保証株式会社 公共工事動向  
国土交通省 建設工事受注動態統計調査

## 公共工事(実数)



## 公共工事(対前年同月比)



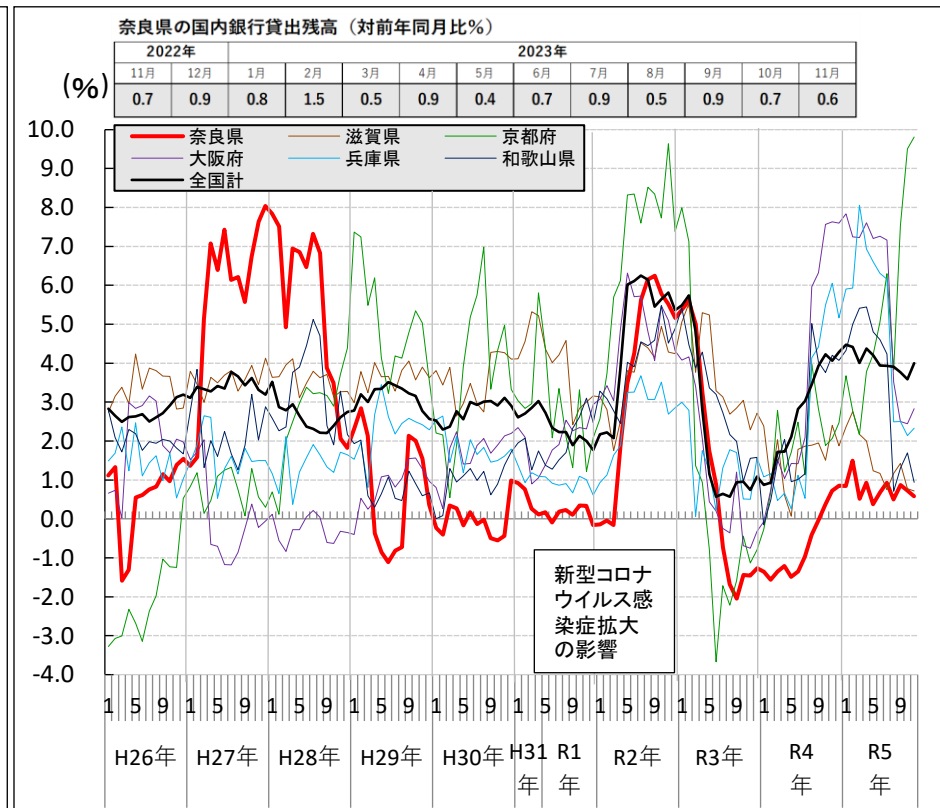
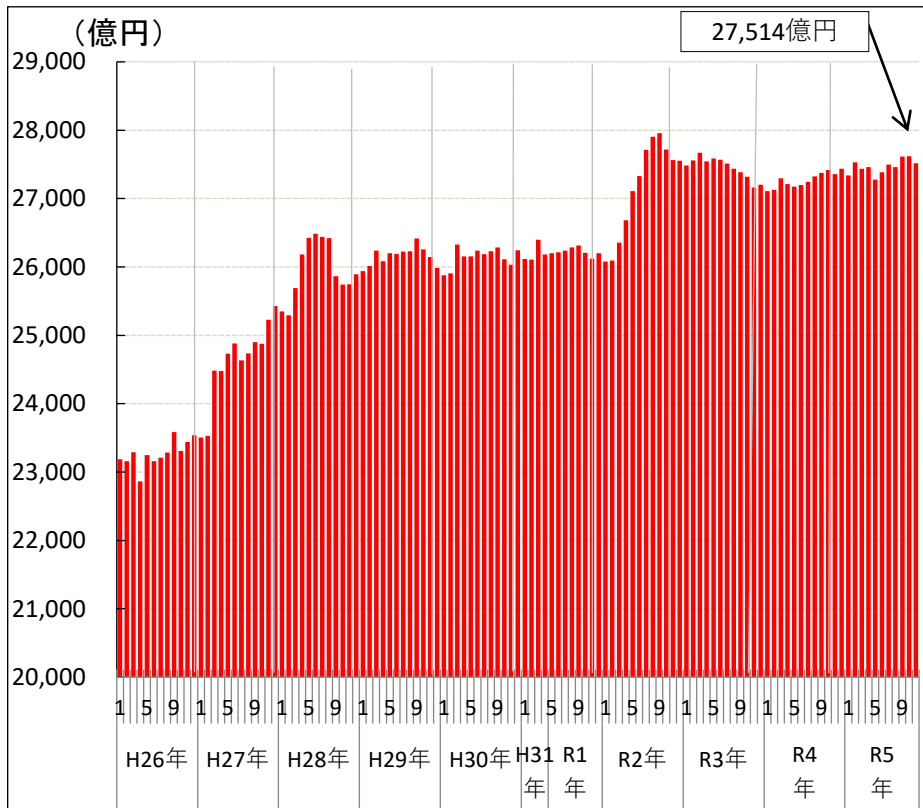
※ 国の値は、令和3年4月から推計方法が変更になっています。  
 ※ 3ヶ月後方移動平均＝足下の基調の変化をつかむため、当月を含む直近の3ヶ月の平均を当月の値とする統計手法

○ 令和5年11月の貸出残高は、対前年同月比で0.6%となった。

出典：日銀長期時系列データ

## 国内銀行貸出残高実数(奈良県)

## 対前年同月比(%)



※ 奈良県内に本・支店のある国内銀行(都銀、地銀、第二地銀、信託銀行)の貸出残高

国内銀行の貸出先には、県外企業・個人への貸出も含まれます。

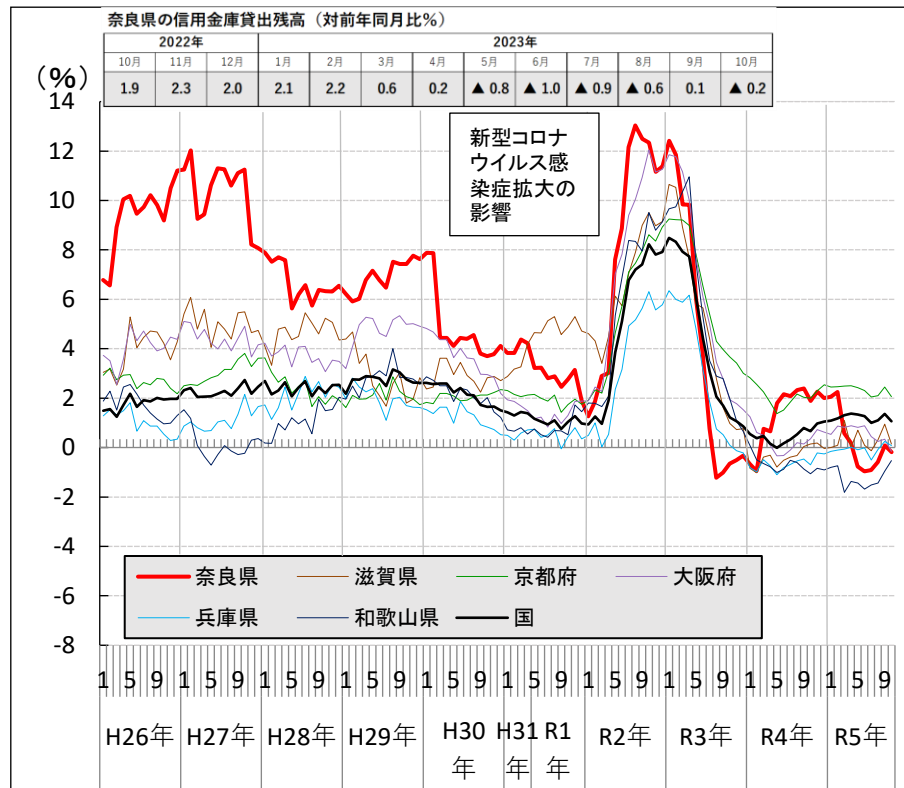
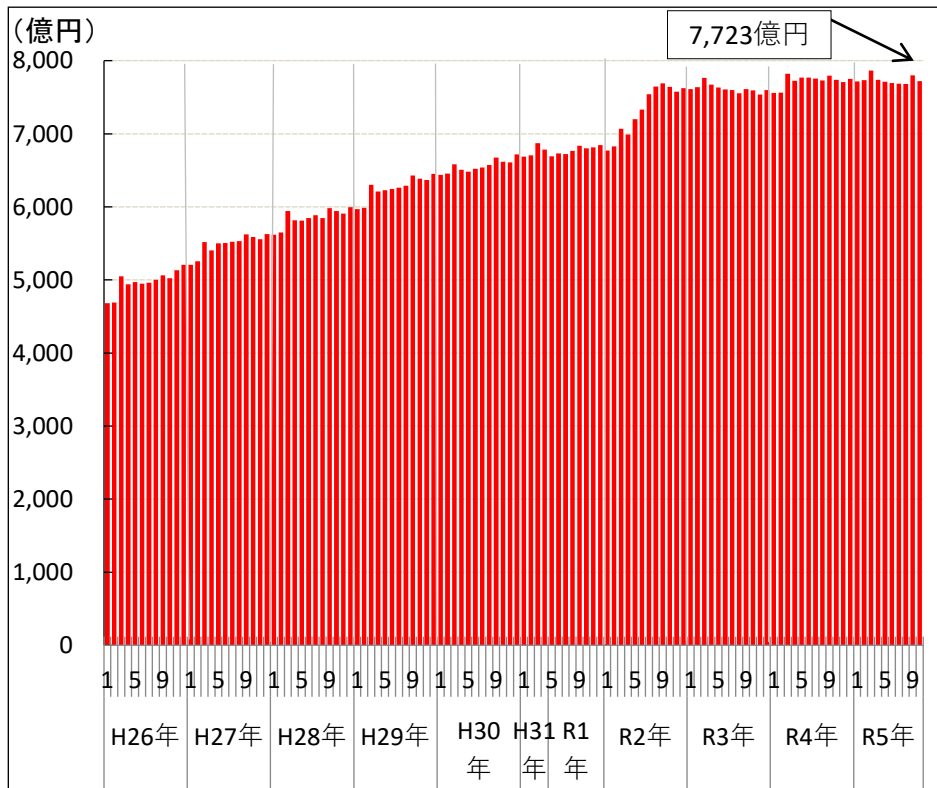


○ 令和5年10月の貸出残高は、対前年同月比で0.2%減となった。

出典:(一社)全国信用金庫協会「monthly信用金庫」

## 信用金庫貸出残高実数(奈良県)

## 対前年同月比(%)



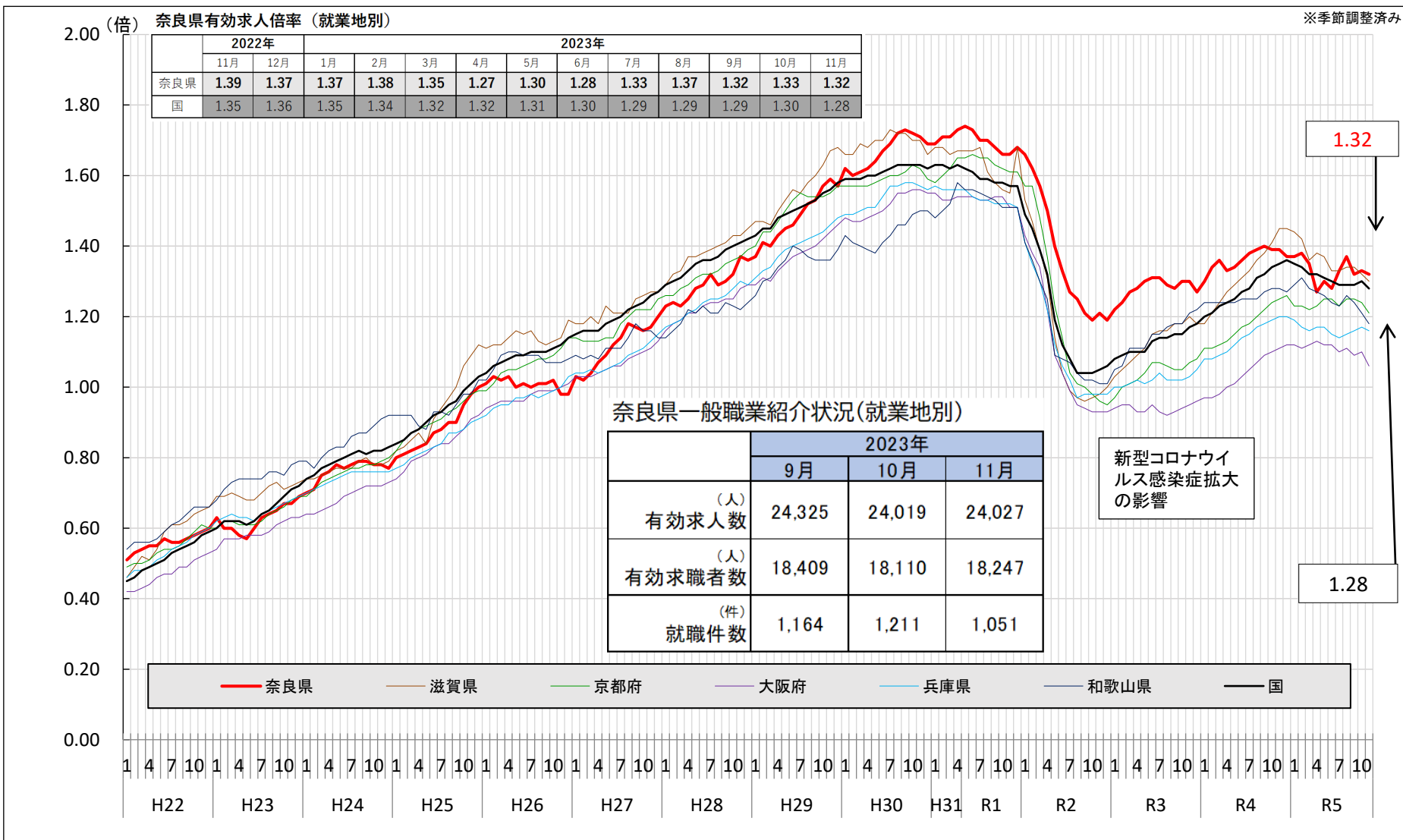
※ 奈良県内に本店のある信用金庫(3信用金庫)の貸出残高

信用金庫の貸出先については、大企業や営業地区以外の企業・個人への貸出が出来ないという制限があります。  
奈良県内3信用金庫の営業地区は、奈良県内が中心となっています。

# E. 雇用【求人】 (1)-1 有効求人倍率(就業地別)の推移

○ 令和5年11月の有効求人倍率(就業地別)は、1.32と前月より0.01ポイント減少した。  
 なお前月より、有効求人数は8人の増加、有効求職者数は137人の増加。  
 また就職件数は前月より160件減少した。

出典:厚生労働省 一般職業紹介状況

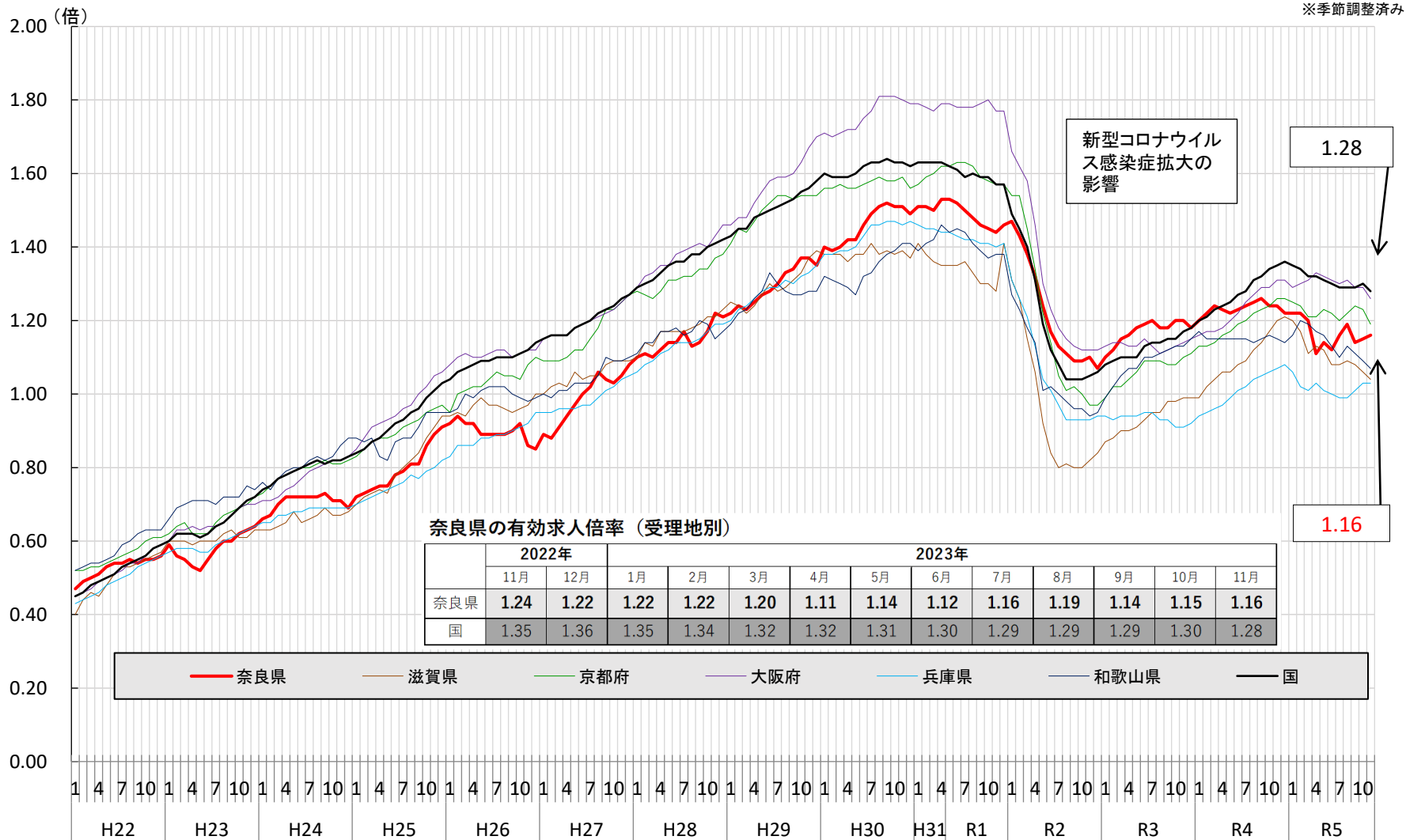


※令和5年1月分更新時に、過去の数値を遡及改訂しました。

# E. 雇用【求人】 (1)-2 有効求人倍率(受理地別)の推移

○ 令和5年11月の有効求人倍率(受理地別)は、1.16と前月より0.01ポイント増加した。

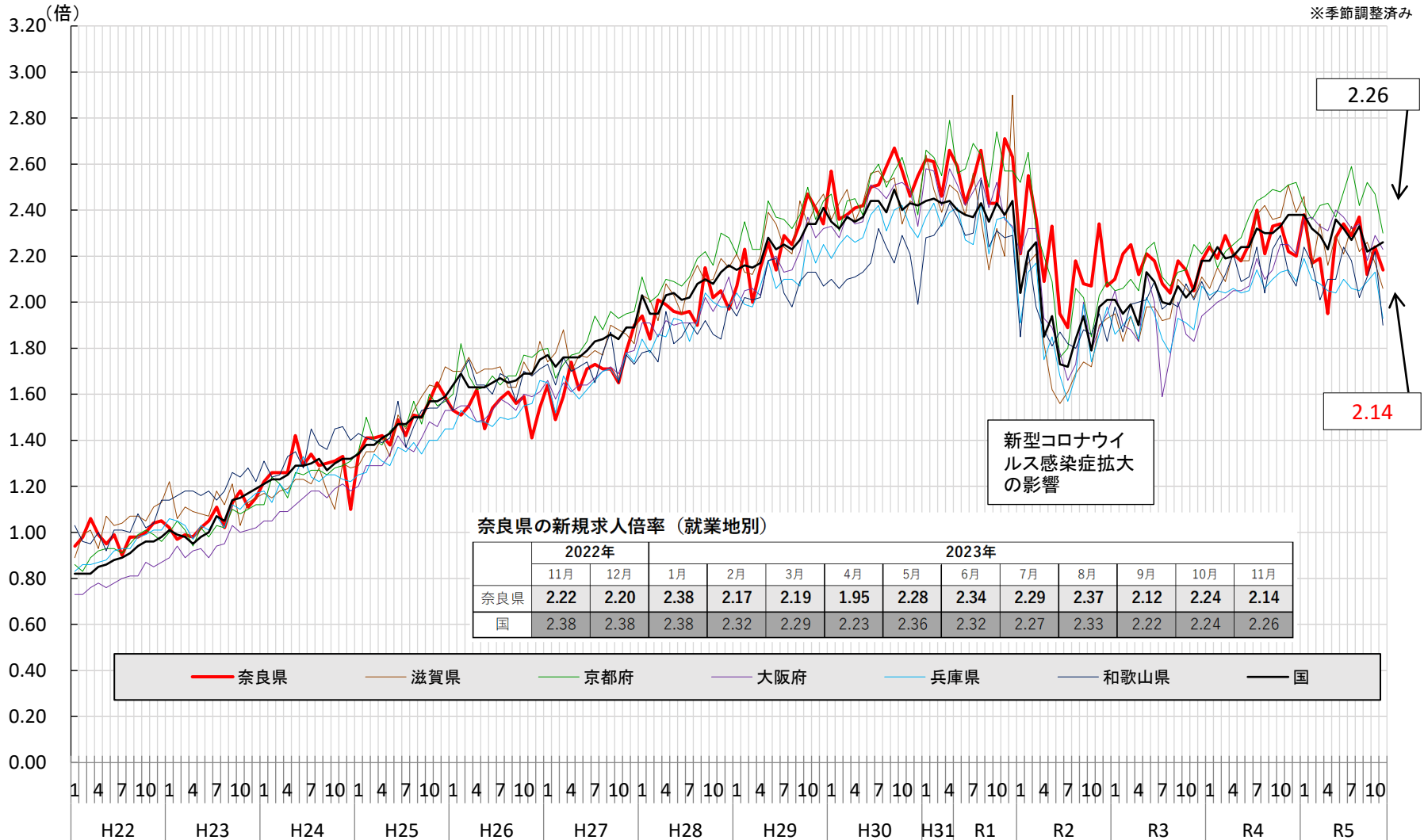
出典:厚生労働省 一般職業紹介状況



※令和5年1月分更新時に、過去の数値を遡及改訂しました。

○ 令和5年11月の新規求人倍率(就業地別)は、2.14と前月より0.1ポイント減少した。

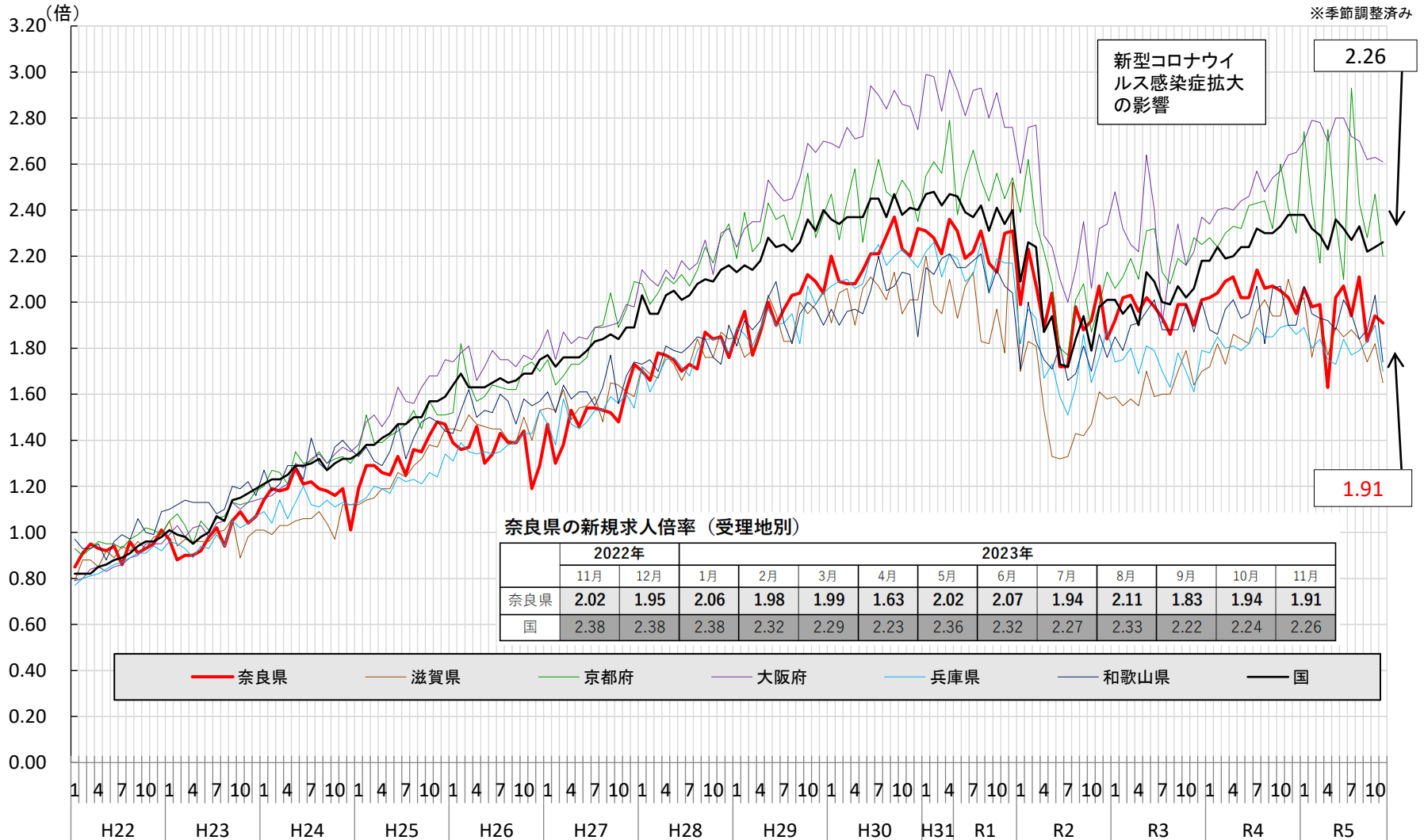
出典:厚生労働省 一般職業紹介状況



※令和5年1月分更新時に、過去の数値を遡及改訂しました。

○ 令和5年11月の新規求人倍率(受理地別)は、1.91と前月より0.03ポイント減少した。

出典:厚生労働省 一般職業紹介状況



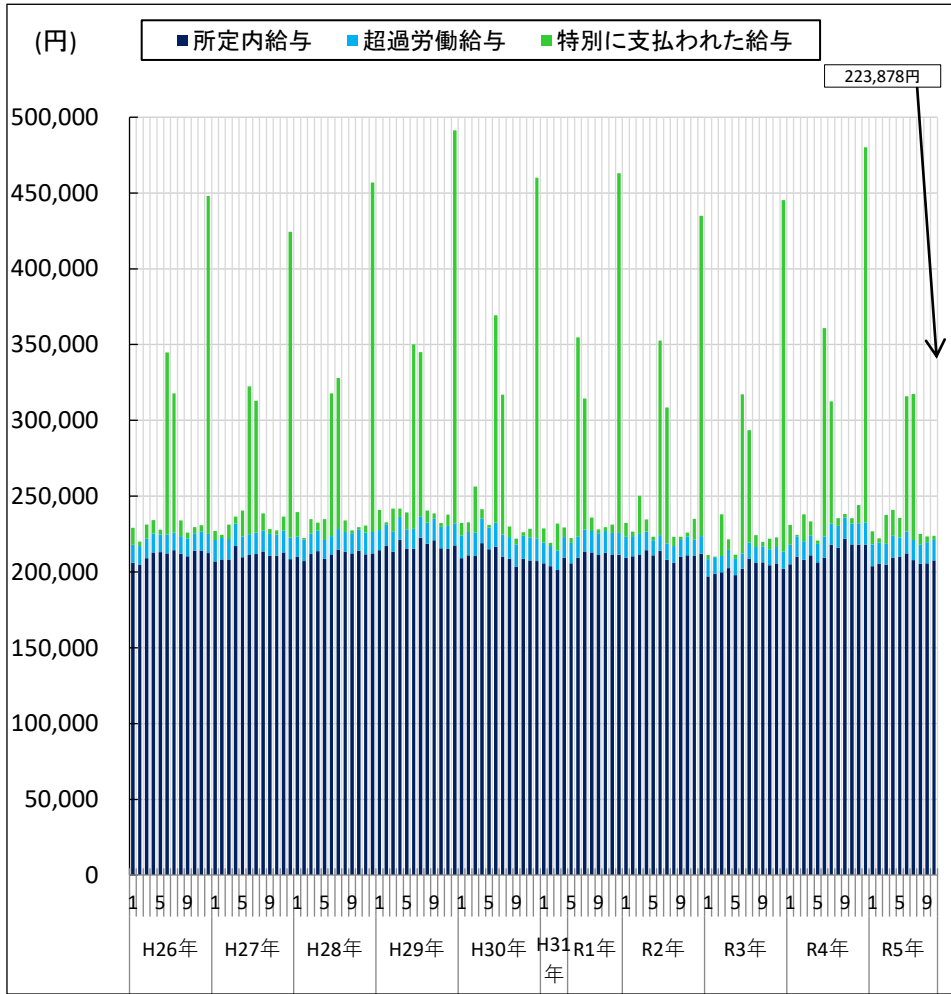
※令和5年11月分更新時に、過去の数値を遡及改訂しました。

# E. 雇用【賃金】 現金給与総額、所定内給与、超過労働給与の推移 19

○ 現金給与総額は、令和5年10月に1人当たり223,878円となった。

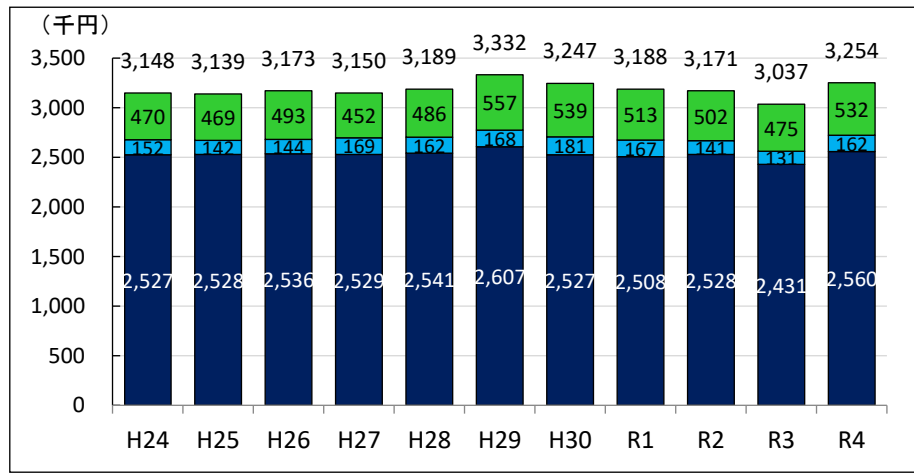
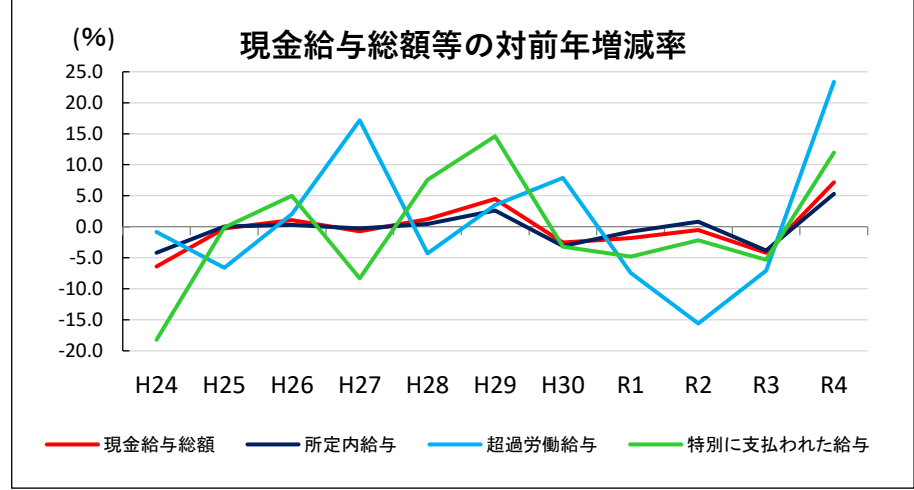
出典：奈良県 毎月勤労統計調査

## 【例月比較】 【月ごとの現金給与総額の内訳】



## 【暦年比較】

注) 特別に支払われた給与=主に賞与(ボーナス)

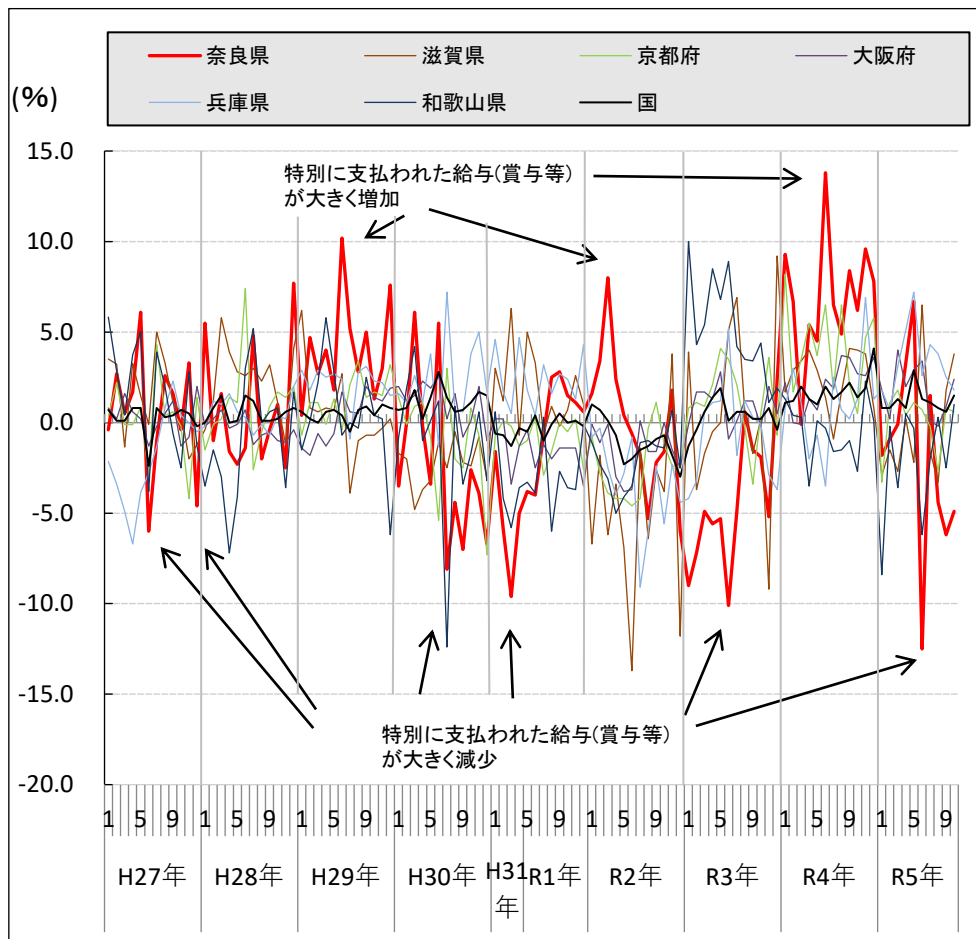


【例月比較】

出典：奈良県・近畿各府県 毎月勤労統計調査

現金給与総額（対前年同月比％）

	2022年				2023年									
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
奈良県	8.4	6.2	9.6	7.8	▲1.8	▲0.9	▲0.1	3.3	6.7	▲12.5	1.5	▲4.4	▲6.2	▲4.9
国	2.2	1.4	1.9	4.1	0.8	0.8	1.3	0.8	2.9	1.3	1.1	0.8	0.6	1.5

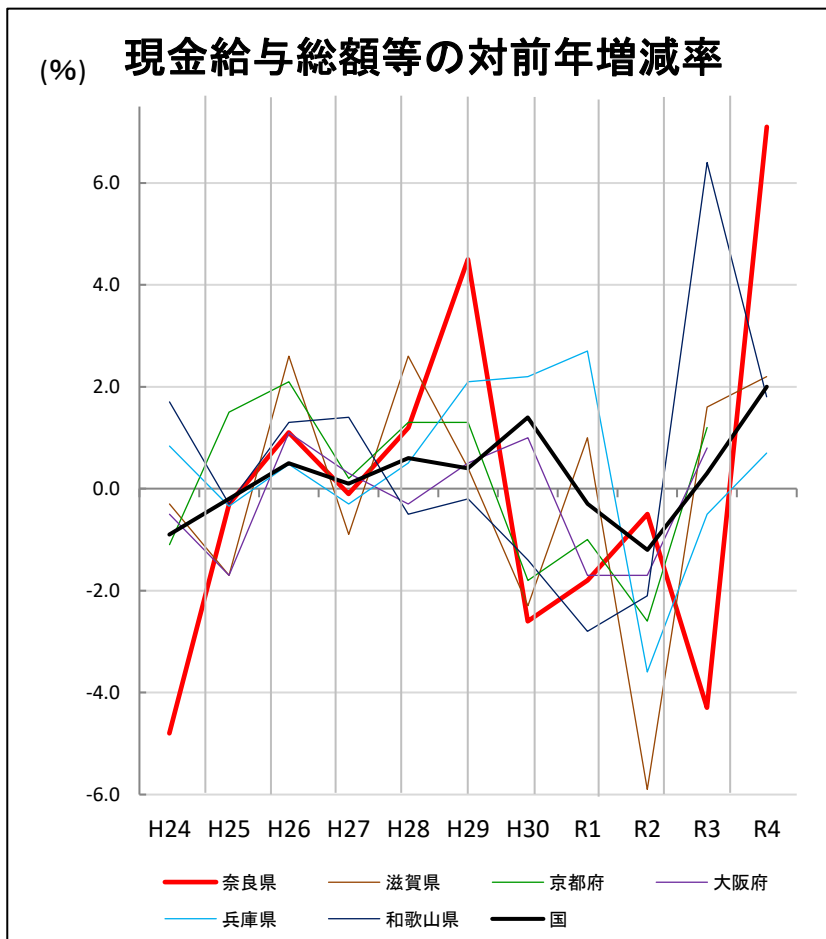


【暦年比較】

出典：奈良県・近畿各府県 毎月勤労統計調査

現金給与総額（年平均）前年比

	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
奈良県	▲0.1	1.2	4.5	▲2.6	▲1.8	▲0.5	▲4.3	7.1
国	0.1	0.6	0.4	1.4	▲0.3	▲1.2	0.3	2.0



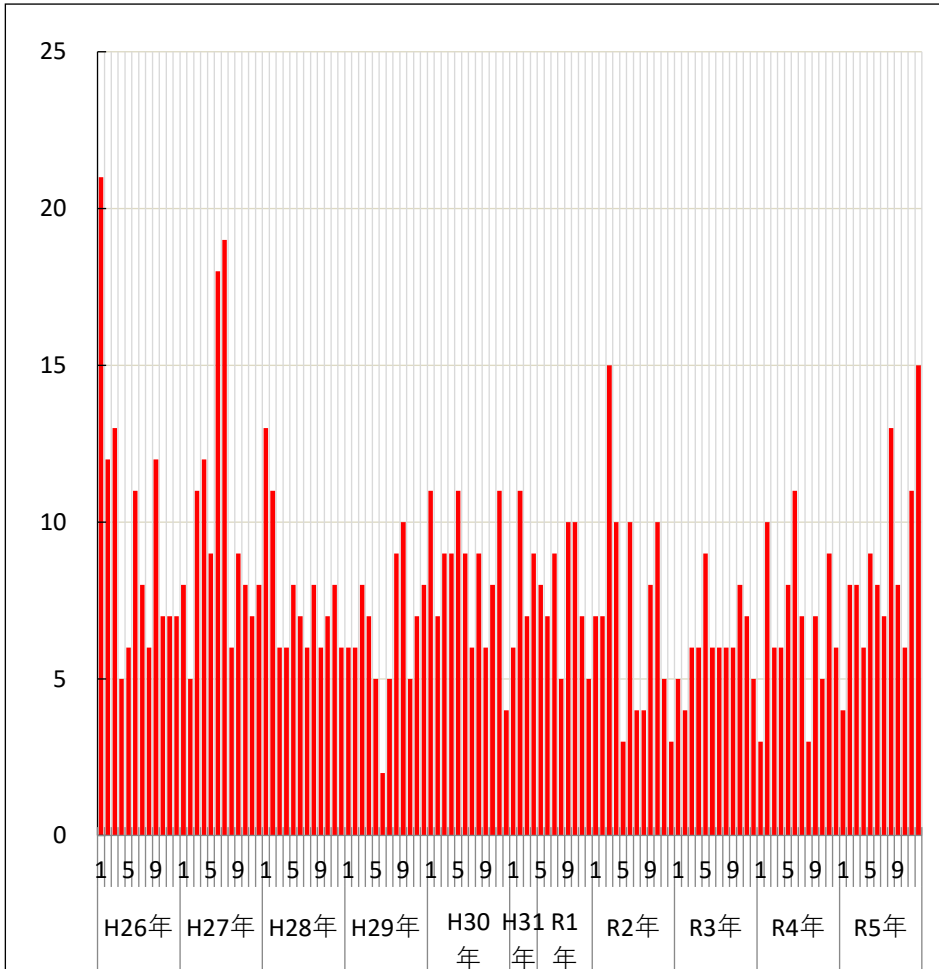
注：最新分が公表されていない県について、公表され次第追加します。

# F. 景気【倒産】 (1) 企業倒産件数の推移 (負債総額1千万円以上) 21

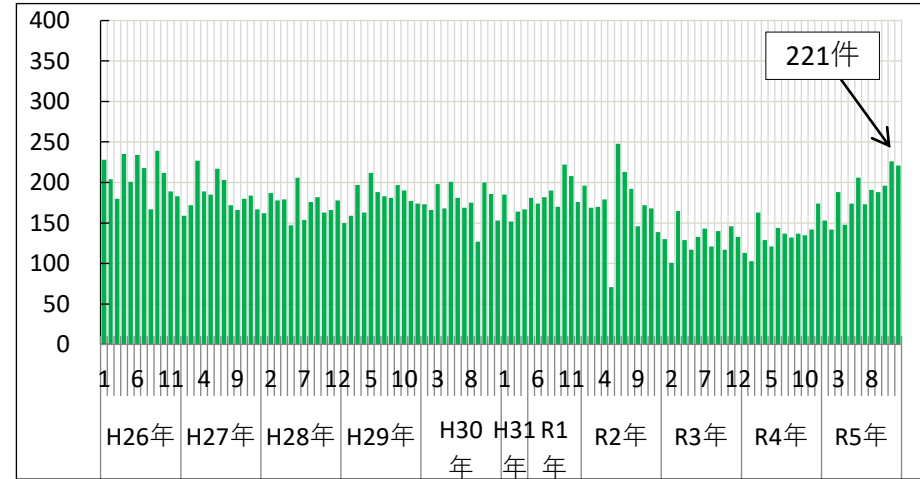
○ 令和5年12月の倒産件数は15件。  
「新型コロナウイルス」関連倒産は7件だった。

出典: 東京商工リサーチ 全国企業倒産状況

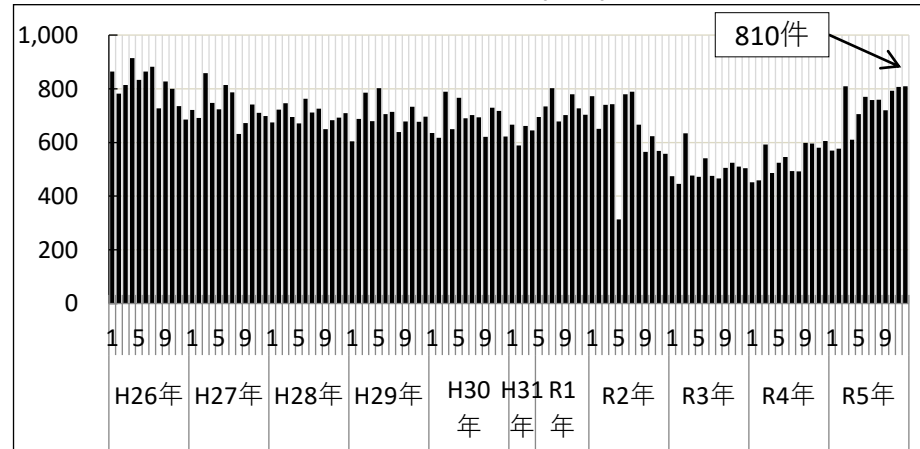
## 倒産件数(奈良県)



## 倒産件数(近畿)



## 倒産件数(国)



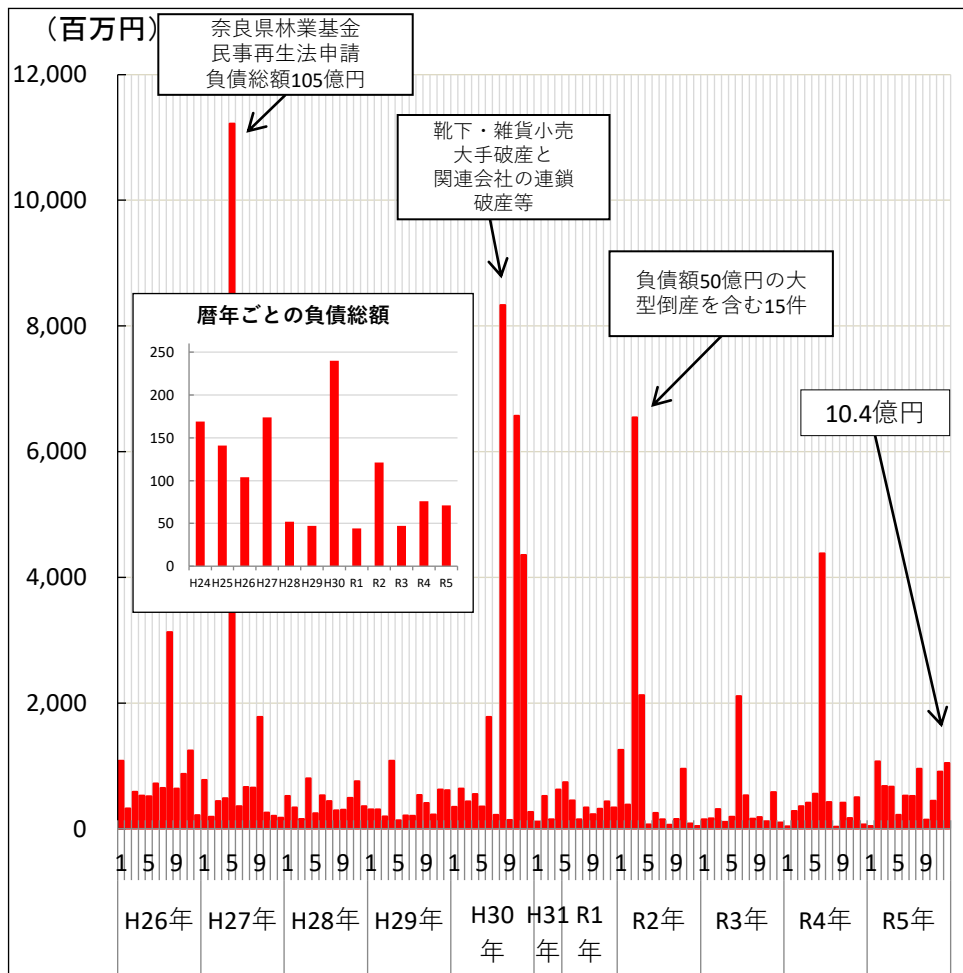


# F. 景気【倒産】(2) 企業倒産負債総額の推移(負債総額1千万円以上) 22

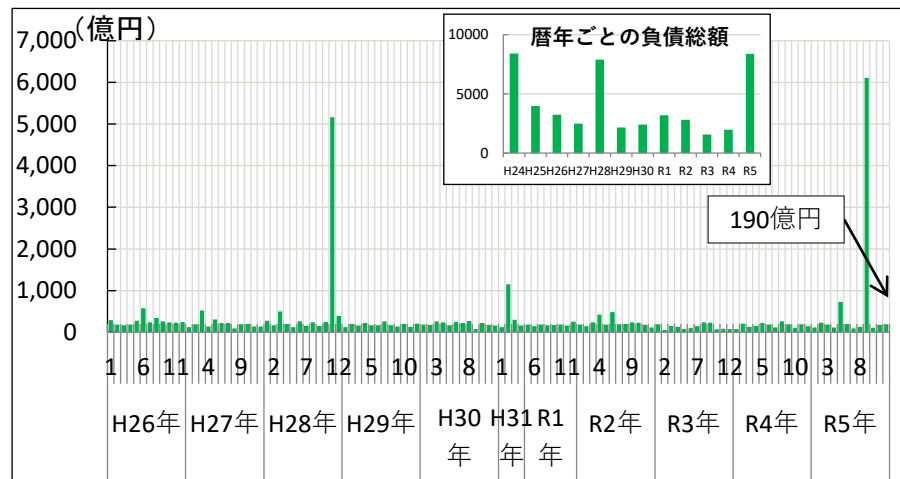
○ 令和5年12月の倒産負債総額は10.4億円。

出典: 東京商工リサーチ 全国企業倒産状況

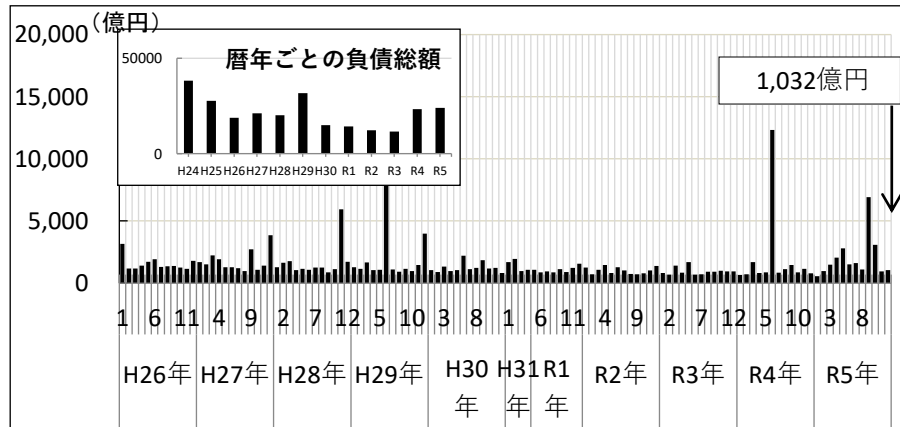
## 負債総額(奈良県)



## 負債総額(近畿)



## 負債総額(国)



# F. 景気動向【景気全般】 景気動向指数(CI)の推移 (平成27年 = 100) 23

○ 景気動向指数(CI一致指数)は、令和5年10月に84.6と、前月から2.6ポイント上昇した。

出典：奈良県統計分析課

